

原水協活動 FAX News

発行:原水爆禁止日本協議会

電話03 5842 6031 FAX03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2009年2月4日 No. 12

魅力いっぱいのにびきニデーに参加しよう

なんとでも150名の3・1代表を ビキニデー成功、署名推進へ決起集会 神奈川

神奈川県原水協は2月2日夜、横浜市内で「2010年NPTめざす決起集会第一弾」として3・1ビキニデーの成功と新署名推進のための交流決起集会を開きました。

最初に3・1パンフを使って核兵器廃絶をめぐる世界の動き、被爆国の役割、新署名と3・1ビキニデーの重要な意義について学習。講師の安井正和事務局次長は、「昨年のビキニデーには153名の神奈川の代表が参加し、原子力空母母港化に反対するたたかいが全国を励ました。今年も期待しています」と代表派遣の成功を訴えました。

参加者からは「いまの情勢にワクワクしている。目の前で世界が変わっている。『チェンジ』のチャンス。署名は全会員に下ろした。」(平和委員会)「2月8日に神奈川土建の『平和祭り』を初めて開く。労働戦線で3・1ビキニデーをささえる」(建設労連)「NPTに自分が行くと宣伝しながら署名を集めている」(横浜)「平和部長会議で学習し、34名の要請目標を達成したい」(新婦人)などの発言が続きました。

県原水協の永沢事務局長は、原子力空母配備から5カ月、空母の原子炉のメンテナンス作業が大規模にされている危険な実態を指摘、「決起集会までに50名の代表をめざし達成した。今日の学習を力に150名の3・1代表を必ず派遣しよう」とよびかけました。

2010年NPT再検討会議めざし九州・沖縄ブロック会議で学び交流 長崎

九州・沖縄ブロック原水協学校が1月31日と2月1日、長崎市でひらかれ、九州各県と地元長崎を合わせて76人が参加しました。

1日目は木村朗鹿児島大学教授が「原爆神話から解放と核抑止論の克服 戦争と核兵器のない世界を実現するために」と題して講演。原爆問題をめぐる過去と現在 核抑止論の定着。9・11テロ事件以後の狂気の世界。核兵器廃絶に向けて何が必要か。などについて話されました。

2日目は梶本修史兵庫県原水協事務局長が非核「神戸方式」について、実現までの経過、米政府のうごき、33年間守り通してきた運動のついて詳しく話されました。

また、日本原水協代表団としてマレーシアを訪問し、原爆写真展や大学生との交流などを行い帰国した川口龍也氏(長崎県)の報告がありました。

沖縄、宮崎、熊本、大分、福岡、佐賀、長崎各県からは運動報告とともに、2010年NPT再検討会議めざす署名運動、代表派遣のとりのくみが語られ相互に学びあい励ましあう場となりました。

「『核兵器のない世界を』署名推進滋賀県センター(仮称)」結成の集い 滋賀

「ピ・スアクション2009・しが」実行委員会と滋賀県反核平和連絡会は、2月7日の午後1時半より滋賀弁護士会館4階大会議室で「『核兵器のない世界を』署名推進滋賀県センター(仮称)」結成の集いを行います。

第1部で同志社大学名誉教授の望田幸男氏を講師に「2010年NPT再検討会議の重要性と展望」を学び、第2部で署名推進センター(仮称)結成の集いを開催します。